

1948年7月N34

# 農家の婦人の協同組合の手引



労働省婦人少年局

あなたがこれまでやがては自分が仕事をせにし、日本全體も仕合せにすることができます。日本農村婦人の生活は今までより少しと進歩して自分でも知らなかつた方が生れ、お母さんに自分で自分の意見をの入事務の相談にみづかり上手にお金を使つて耕種のなら様、組合を自分の組合にならぬり聞やたのしのみのある上い暮し方が出来なくなります。

明るく女らしくなつて明るい農村をつくりましょ。組合の仕事を男にまかせてねらたでのは折角の計画

## ○組合の仕事を男か女性にまかせよじよじよ

印刷機もそこで手に入れる者です。

農業協同組合の設立及規約についての御質問は村役場に窓口で合せられます。

も何でも希望の仕事を始められるわけですね。

組合の結成について地方廳の許可を求め、許可が出来ば直ぐに保育でも料理で

この大會の席で組合の役員を選び、組合の方針をきめます。

いた見をかわします。

しはらへして結成大會をひらき、あらかじめ委員会でひらつた規約の草案にひ



この規約は組合の仕事、組合員の資格、規則等に記載するものであります。

この最初の会員登録に委員会を指名して、その入選が組合の規約をつくります。

きます。

その時役員のうちから組合員がまつて話し合いまさすが、これは必ず五人から十人で組合員会は

1. 皆同組合のつくり方にうらうて持つ役員は相談に行きます。

## ○組合のつくり方

して、立派な村民になるとちにうとめれば、組合員は村をつくり、良い日本を育むことをめざします。これが民主的使命だといふことがであります。図書館とか映画館は集会所などや役所であります。それによく利用する所であります。婦人は無駄な苦しみをしてみせます。また保育所をつくることはお子さんやお母さんにはお世話になります。お産の出来るとこら、産前産後の養生の仕方や赤ちゃんの育て方を教えて

いものです。

丈夫な婦人もお産の時にむりをしたり、手當がとづかないと、恐しい病魔にまなれば、とり返しのつかない

は洗濯一つする暇もない皆さんが、この方法をとればどちらに便利かわかりません。農業組合に洗濯も部分ひまをとる面倒な仕事です。共同で電気洗濯機を見えは効力と時間がすつと省けます。農業組合に

## 洗濯

にもまた娘さん達の新しい職場が開かれることにもなります。そこで農作物や林檎の力を取りて手早くするようにすれば、主婦の手間も省けますし、そく仕事を手わけし、効率や機械はたで昔の何百倍の能率をあげています。皆さんが共同して一つの仕事をつて昔は糸をつじき布を織ることだが、みなひとりひとりの女の手でおこなわれましたが、今は大勢工場に集つて

## 衣服の改革

れば主婦は大助かりです。約になることでしょ。その他の、焼工場、調査局の製造所、その他加工、牛加工の企事業を操作する處がで、娘さんはこの共同放事場でお手傳をしてから柴炭を簡単に安くつけることをおぼえます。食堂は協同組合の事務所の中に多くあります。娘さんはこの共同放事場でお手傳をしてから柴炭を簡単に安くつけることをおぼえます。食堂は協同組合

、食事を作れば、柴炭門家の指導を仰ぎ、お母さんの方も努力して、子供達に柴炭の高い食料を食入させることができます。しかしも養所の仕事は相變らず煩わしく代りにくいものです。そこで協同組合が村の學校の中に入り、柴炭を貯へてあります。柴炭は非常に高く、兩比の平均寿命は短いのです。特に田舎では百年前と治ど變らぬ方法で料理したいためです。それは柴炭不足のため農民の賃貸が悪くばかり、チーズ、結構その他の柴炭が悪くされやすく、児の死

## 柴炭

員同志が共同して別に新しく協同組合をつくることもあります。一、二、三の例を舉げて組合に要求することもできますし、或は何か一つ特殊な事業をめぐらすために個人組合に日常生活と密接な關係のある事業計画を立てたいと思ふ者は他の組合員と相談して組入組合員は、組合の會議に出席して自分の意見を述べ、投票することができますが、

## ○婦人組合員の権利

のであります。農業組合は男女の別なく、農民の協力によつて、近代的な進歩した農業をいとむことを目的とする一年の内九十九日(三ヶ月)以上田に出て働く人は、女でも男と同様に投票権をもつ組合員になれます。さうが男女司等な権利をもつためには、皆さんも組合の仕事に對して責任を負う、この新しい風土的な組合

## ○男子と同一に権利

ので、政府や村の「組合」などに指図されたり干渉をうけることのないのか、この組合の大変な特徴なのです。組合員のうち正会員、つまり耕す農夫だけが役員の選舉や、組合の進む道をきめる投票権をもちます。組合は見本的な團體ですから離れても自由に組合員になれますし、一人でいいから組合に入ることもできます。

この組合をつくり育て、行くのは皆さんは自身なのです。婦人も、皆同じように文明人として生きる生活をすることができる様になります。毎日々の衣食住や教育、娛樂などを豊かな生活から解放されることになりました。皆さんはこれまでの窮屈な生活からこんなとて農業組合員となり法律がやきて、皆さんはこれまでの窮屈な

とか家庭生活の改善など思ひもよなかぬことでした。一方島では皆も曲るほどうらい仕事に雇られていましたので、文化生活もされ、日本農家の婦人は子供を産んで育て、不便な豪所で面倒な仕事に追いつめられました。

